

コーディネーター通信



外部専門員を御紹介します

明日からは6月ですね。蒸し暑くなり不機嫌なお子さんも多いと思います。また新型コロナウイルスの状況は依然厳しく、窮屈さを感じることも多いと思います。御家庭で、放課後等デイサービス等などで、お子さんの行動への対応に困ったり悩んだりした時には、担任やコーディネーターに御相談ください。一緒に考えていきましょう。

今回のコーディネーター通信は、外部専門員の方々を御紹介します。

外部専門員とは…

都立知的障害特別支援学校における指導内容の充実を図るとともに、教員の専門性を向上させること等を目的として、東京都教育委員会が配置するものです。

外部専門員の方々は来校し、授業など学校生活の様子を観察したり、アセスメントを実施したりしています。担任等と行うミニ支援会議では、授業へ助言、お子さんの様子を理解し支援するためのアドバイスをしています。

本校には、今年度 20 名の外部専門員が勤務しています。

専門職種	人数	内容
公認心理師 臨床心理士 特別支援教育士 臨床発達心理士	3人	お子さんの実態把握をアセスメントや授業観察から行います。お子さんの行動の背景を考えて、状態像を一緒に考えていきます。状態像のみとから指導に生かすための支援の工夫や環境調整等のアドバイスをしています。
理学療法士(PT) 作業療法士(OT)	5人	身体や動作に困難があるお子さんだけでなく、全てのお子さんの姿勢や学習効果を高めるための効果的な身体の使い方等についてアドバイスをしています。骨盤を立てて座るための椅子の工夫、手指の操作性を高めるための教材や運動の提案などアドバイスは多岐にわたります。



言語聴覚士(ST)	2人	<p>言語やコミュニケーション、摂食に関わる支援方法や、アセスメント（LCスケール等）からわかるお子さんの様子を共有し関り方のアドバイスをしています。</p> 
ASD理解	3人	<p>お子さんの様子にあった学習支援のあり方を感覚障害の観点も含めアドバイスしています。当事者の方です。</p> 
<p>専門職 各専門職による専門的かつ具体的な指導助言を教員に行う。</p>	1人ずつ	<p>茶道家：中学部の「総合的な学習の時間」に日本文化に触れる機会として茶道を取り入れています。作法や所作を実践していただいています。</p>  <p>授業力向上、教材製作アドバイザー：お子さんたちの様子から、言葉かけの仕方や、教材の工夫を提示するなど学習指導の向上のためにアドバイスをしています。</p> <p>ICTアドバイザー：主に高等部の「情報」の授業へ、取り入れる内容や教材の情報提供を行い、アドバイスをしています。</p>  <p>TTAP 検査によるアセスメント：TTAP 検査によるアセスメントを行い、お子さんのもっている強みを生かしていけるような環境設定のためのアドバイスをしています。</p> <p>歯科衛生士（摂食指導）：お子さんたちの食べ方や飲み方の発達を促すアドバイスをしています。</p>  <p>清掃（高等部 作業学習・職業の時間への助言）：作業学習や職業の授業が改良できるようアドバイスをしています。</p> 

* LCスケール：「言語・コミュニケーション発達スケール」

音声で表出する「言語表出」課題，ことばの理解を指さしなどで表現する「言語理解」課題，そしてことばによらない対人コミュニケーションや状況を適切に判断することができるかどうかを評価する「コミュニケーション」課題の3つの側面を取り入れているアセスメントです。

* ICT:情報通信機器。通信技術を使って人とつながる技術です。

* TTAP: (TEACCH Transition Assessment Profile：移行アセスメントプロフィール)就労に向けてのアセスメント

外部専門員の方々は、教員に対して助言を行います。保護者の方に直接お話ししたり、プリントなどをお渡ししたりすることはできません。御了承ください。助言を授業や生活の中に生かして、お子さんの成長を促していきます。御不明な点がございましたら、特別支援教育コーディネーター（長沼）までお問い合わせください。